

第1学年

赤ちゃんが学校にやってくる！

～いのちと出会う・感じる授業～
を実施しました

期日：令和元年5月15日（水）・17日（金）

場所：武道場

内容：子育てに関するトークや赤ちゃんとのふれあい体験

鮮やかな青葉の香がそよぐ薫風の中，NPO法人ままとーん様のご協力によりゲストの親子12組をお迎えし，道徳と家庭科のクロスカリキュラム授業をおこないました。



子育てに熱心なゲストさんのお話に大注目



赤ちゃんて、
小さいね！



自然とやさしい笑顔になっています





お母様の説明を聞きつつも、赤ちゃんの表情が気になり、のぞき込んであやす様子



たくさんのお兄さんが
「絵本ちょーだい！」
栄光はだれの手に？！



見つめ合って気持ち通じたかな？



パパママにアドバイスをいただきながら、抱っこに挑戦！！

赤ちゃん、興味のある物にまっしぐら！素早い！



<生徒の感想より>

1組 機械科

- ・将来自分が父親になった時、夫として父として家族に何をしあげられそうかな?と考えるきっかけとなりました。
- ・赤ちゃんには個性があり、それを理解しながら育てていくことで、今の自分位になっても親が一番の理解者になれるのか…と思った。
- ・子育ては昔、男1：女9だったそうですが、今は男5：女5。協力が必要だと思いました。
- ・お母さん達のお話を聞き、自分の親もあの大変さを味わいながら育ててくれたのだと感謝の気持ちが湧きあがりました。

2組 ロボット工学科

- ・男性も育児休暇が取れることを初めて知った。自分も将来取りたいと思う。
- ・赤ちゃんは天使のように可愛かったが、育てる中ではたくさんのご苦労があることを知った。しかし、成長を見る喜びや楽しみ、感動がそれを上回ると聞き、将来楽しみです。
- ・とにかくかわいい！育メンとは、夫婦の信頼関係がまず必要で、妻をリラックスさせたり負担を減らしてあげたりする事の大切さを学びました。

3組 電気電子科

- ・赤ちゃんは1人では何も出来ないのがよく分かった。夫婦を中心にみんなで協力して育てて行くことが大切だと分かった。
- ・赤ちゃんに対して「うるさい」や「泣いてばかり」と、良いイメージが無かったが、今日の授業で気持ちが変わった。手がプニプニしてとても柔らかかったです。
- ・子育ての大変さがわかり、自分を育ててくれた親を気づかおうと思った。

4組 建築技術科

- ・赤ちゃんって、小さくて、柔らかくて、ガラスのようにもろい存在なのだなと気付きました。大切に扱わなきゃいけないものだと思った。
- ・もし街中で子ども連れの方がいたら、何かお役に立ちたい!と思いました。
- ・赤ちゃんは「いつも暴れまくっているもの」と思い込んでいましたが、違うことが分かりました。赤ちゃんかわいい！将来子どもを持ちたいという気持ちになりました。